

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(数学) 准教授 島田 佑一

取 組 状 況	
教育	1. 教科教育 (1) 1年生の基礎学力・自主学習の習慣確立のための指導 ・基礎数学Iの成績不振者を対象に、年間を通して6回補講を実施した。補講実施にあたっては事前に演習課題を配布し、あらかじめ自主学習にて演習に取り組ませて、補講の時間にはその理解度を確認した。これにより、理解の不足している点を自覚させて、それを質問し解決するプロセスを身につけさせることを目的として実施した。また都度課題の目的を再確認し、それを意識させることで学習の効果を高める指導を行った。基礎数学Iの担当クラスでは、後期の成績不振者(定期試験の成績が合格基準に満たない者)を前期の成績不振者の約30%にまで減少させることができ、教育効果を確認できた。なお最終的には、担当クラスの受講者は全員、基礎数学Iの単位を取得することができた。 (2) 担当科目(1年「基礎数学I」、4年選択「数学特論I」、「応用数学I」(機械システム工学コース))においてそれぞれ授業内容に関するプリントを作成 ・受講学生が板書の筆記に促われることなく、要点を整理しながら授業を聴講し、理解を深めるために有効であった。 ・特に4年生の授業では、発展的な内容や知識を統合する必要がある応用問題、あるいは授業で学んだ知識が専門分野で応用される例を積極的に紹介し、学生の理解を深める取り組みを継続的に実施した。
研究	1. その他(投稿中論文) ・島田佑一, 笹川駿, 山岸弘幸, フィボナッチ数列の第N項を求める計算速度, 査読付学術雑誌に採択決定
社会貢献	1. 体験入学(令和6年7月14日)ものづくり講座「折り紙と数学」(本校山岸弘幸准教授と共同開催)